



市民活動・ボランティア活動情報誌

2025年12月15日

No.217

福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 (略称: 横浜市社協)



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集

身近な場所でつながる 安心のかたち

のぼ

～港南区野庭団地の取組～



福よこクイズプレゼント

木製よこはまパズル
(コースター付き)
→詳しくは裏表紙へ



野庭団地で活動する仲間とともに
(野庭団地第4住宅前で8月19日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

福祉の仕事 ケアマネジャー(介護支援専門員) p4

ボラセン情報 企業と連携した寄付の取組 p5

市社協情報 退所時チャレンジ・
退所後再チャレンジ支援金事業 p6

福祉よこはま最新号と
バックナンバー▶

福祉よこはま 検索



「一人暮らし」でも「一人」じゃない オールのば(シルバークラブ友愛活動)

毎月1回の定期活動(講座・落語・カラオケ・子ども交流会・歴史探訪など)を通じて、高齢者が一人暮らしになっても孤立させない居場所・たまり場づくりを行っています。「オールのば」という名前には、若い世代も、野庭団地以外に住む人も、誰でも集まってほしいという思いが込められています。

うた
沖繩の音楽と唄を楽しみました
おおうたかい
「オールのば大唄会」



住めば住むほど 暮らし続けたいまち

「外に出て、人に会って、挨拶をする」ことの繰り返しで地域のつながりを活発にします。日頃から各シルバークラブ※ではゴミ出しや荷物の上げ下ろしといった助けあい活動をしています。が、「大唄会」のような100人規模の催しは「オールのば」だからできることです。

※野庭団地には自治会ごとに7つの
シルバークラブがあります。



すずき
鈴木さん

しおだ
塩田さん

みずの
水野さん

はせがわ
長谷川さん

◀「オールのば」の
運営メンバーの皆さん

野庭団地には「いいことはやってみよう」という気風があります。高齢化が進んでいますが、集会所を中心に人が集まりやすく、認知症のある方々も温かく見守り、民生委員に情報がつながる安心感があります。住めば住むほど誇りに思えるまちです。

催しに参加すると自然と顔を覚えてもらい、ほかで会っても挨拶をしてもらえるようになりました。顔見知りが増えることで、自分の気持ちや生活が豊かになります。

「みんなのふるさと」であるために

野庭に暮らす方々と出会うたび、住民同士のつながりの強さを感じます。同じ団地に暮らす仲間同士の「気かけあいの気持ち」から始まった地域のさまざまな取組は、今もいろいろなアイデアが生まれ、時代に合わせた変化を続けています。子育て世帯もマルシェや祭りなどで交流し、日常でも声をかけあう姿が見られます。その積み重ねが、野庭に暮らす皆さんの「見守り・支えあい・助けあいの担い手であり受け手である」という意識を高めていくのだと思います。「みんなのふるさと」を大切にしたいという思いから生まれた野庭のさまざまな取組をこれからも応援していきます。

▲横浜市野庭地域ケアプラザ所長
ながほりこうへい
長堀 幸平さん(左)、
横浜市港南区社会福祉協議会
やまざき さゆり
山崎 早百合さん(右)

身近な場所で つながる 安心のかたち

のば ～港南区野庭 団地の取組～

横浜の大規模団地のひとつである野庭団地※。近隣の住民同士がで
きる範囲で支えあ
地域づくりを
居場所、交流の場を通じ
広がっている様
子を紹介します。

※港南区野庭町にある分譲集
入居が始まった。緑道や公園
環境が特徴。団地住民
合住宅。昭和40年代後半から
が整備され、ゆったりとした
の高齢化率は50%台。

「すぐそこ」の集会所だから行きやすい 出前カフェ(高齢者対象のお茶会)

暮らしに役立つテーマを取り上げた講座とお茶会を5か所の集会所を回って開催しています。ちょっとした外出やふれあいの場となっています。

もともとは地域ケアプラザで食事会として行っていたのですが、コロナでの休止後、「足腰が弱って出かけるのがしんどい」「家の中に閉じこもって孤立しがちな高齢者が多くなっている」などの声を聞き、どなたでも来られるよう「こちらから皆さんの身近な場所へ出向こう」と工夫しながら続けています。



しもなから
下中村さん

おか
岡さん

かまた
鎌田さん

こすげ
小菅さん

おおくぼ
大久保さん

▲主催する野庭団地地区社協の皆さん

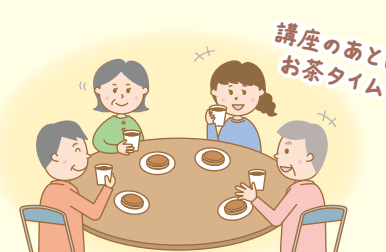
参加者の 声

妻を亡くして閉じこもっていたところ、近隣の方、民生委員、自治会からいろいろな人から誘ってもらったので安心して参加できました。

ここで顔見知りになって、見守ってくれる人が多くいるので、一人暮らしでも安心です。近くで集まりやすいので、いつも誰かを誘っています。



福祉用具
体験会の様子



講座のあとは
お茶タイム

誰もがほっこりと和める居場所 なごみのば(みんなの居場所)

団地内の空き店舗を会場に毎月数回の手話や踊りなどの活動を行った後、お茶とお菓子でゆったりとした時間を過ごしています。

団地内で気軽にお茶やおしゃべりができる場所が少なかったのが、みんなの居場所をつくりたいと思いました。同じ時間を笑顔で楽しみ、淹れたコーヒーを美味しいと褒めてくれる人や、「ここができて気軽に誰かに会えるようになった」と応援してくれる人がいることが嬉しいです。この他にもさまざまな地域活動を楽しんできました。同じ地域に住めばみんな仲間。できることをみんなで分担してきたので、負担感はありません。

参加者の 声

チラシを見て友だちを誘って参加しています。気軽な雰囲気自分には合っています。団地に住んでいるという共通の話題で話が尽きません。

一人暮らしをしていますが、「あなたに会えるだけでいい」と言ってもらえてうれしかったです。



▲なごみのば
はやし
代表 林さん

お茶の時間は、
いつもにぎやかです





人の人生に関われることが魅力です。

横浜市もえぎ野地域ケアプラザ
居宅介護支援事業所ケアマネジャー(介護支援専門員)

おおかわ れな

大川 玲奈さん に聞きました

きっかけ 専門学校で介護福祉士の資格を取り、ヘルパーや福祉用具の営業を経験したのちケアマネジャーになりました。もえぎ野地域ケアプラザに来て11年目になります。人見知りの性格ですが人と関わるのはむしろ好きで、一対一でゆっくり関係性を築いていけるところが向いていると思いました。

日々の仕事 自宅での介護や介護予防が必要な人のケアプラン※を作成し、介護サービス事業所(以下、事業所)や地域活動、行政等との調整を行います。ご利用者さまのお宅を定期訪問し、体調や困りごとを伺って、必要時はケアプランの修正をしていきます。また、病院のカンファレンスへの参加や、介護認定調査なども行います。

※介護サービス計画書

心がけていること ご利用者さまに心を開いてもらえるような雰囲気作りを大切にしています。こちらの意見を押し通したりせず、ご本人の細かい反応や言葉にならない思いも汲み取れるよう心がけています。専門的な知識について常に勉強しながら、必要な支援を冷静に見極められるよう努めています。

やりがい・喜び ご利用者さまやご家族が、人の手は借りたくないと言ったと支援を拒むことがあります。ご本人が暮らしやすくなるために何が必要か説明をしサービスを探して、できる提案は全て行います。紹介した事業所を利用して良かったと喜んでいただけると、次への励みにもなります。

この仕事に興味のある人へ 「人生の先輩たち」とたくさん出会い、その人の背景や価値観に触れることも多く、毎日が学びの連続です。ケアマネジャーは人と人とのつながりを大切に、経験や人柄が活きる仕事です。「誰かの役に立ちたい」「人と関わる仕事がしたい」と思っている人には、ぜひチャレンジしてほしいです。

居宅介護支援事業所のケアマネジャーとは…

在宅の要介護者や要支援者の相談や心身の状況に応じ、サービス(訪問介護、デイサービスなど)を受けられるようにケアプラン※の作成や市町村・サービス事業者・施設等との連絡調整を行います。

(厚生労働省ホームページより)

ケアマネジャーになるには…

保健医療福祉分野での実務経験(医師、看護師、社会福祉士、介護福祉士等)が5年以上あり、介護支援専門員実務研修受講試験に合格し、実務研修を修了することが必要です。

(厚生労働省ホームページより)

横浜市もえぎ野地域ケアプラザ

地域ケアプラザは地域の身近な相談窓口です。福祉分野の専門員がいますので、介護のこと、生活の困りごとなどお気軽にご相談ください。

住所 神奈川県横浜市青葉区もえぎ野 4-2

電話 ☎045-974-5402

ホームページ▶



▲家族と趣味のバイクを楽しんでいます

明るく前向きな
仲間とともに、
お待ちしております



福祉人材に関する情報

かながわ福祉
人材センター



ホームページ▶

横浜市内の
介護人材
関連情報



ホームページ▶

広告

アナタも身近な「見守りの担い手」に！

例えば

- ◆ご近所で契約トラブルの情報共有
- ◆消費者被害で困っている人がいたら
横浜市消費生活総合センターを案内

消費生活相談電話

TEL.045-845-6666



センターHP



高齢者に多い点検商法トラブル

- ①分電盤やブレーカー
- ②ガス給湯器
- ③屋根や外壁、床下等



見守りアドバイスのポイント

- 突然の訪問点検には安易に応じない
- 交換が必要かメーカー等に相談する
- 複数の業者から見積りを取る

企業と連携した寄付の取組



横浜市ボランティアセンターでは、企業が行う地域貢献活動のサポートを行っています。

企業としてできる活動のご相談を受け、一緒に企画を検討しています。

本号では、企業と連携した寄付の取組についてご紹介します。

ヨコハマ寄付本の取組

トランスコスモス株式会社の拠点のひとつ、CXスクエア横浜（横浜市西区）では、従業員の働きやすい環境づくりや、SDGs・地域への貢献活動を行うことを目的とした「横浜プロジェクト」に取り組んでいます。令和7年9月から、地域への貢献活動として、従業員の方々が読み終わった本を寄付する「ヨコハマ寄付本」の取組も始まりました。



事務所休憩室に設置

ヨコハマ寄付本の
詳細はコチラから▶



『トランスコスモス 株式会社』より

CXスクエア横浜ではさまざまな企業様のカスタマーサポート業務などを行っており、約800名の従業員が勤務しています。横浜市在住の従業員も多いため、『ヨコハマで、すぐヨコへ』を掲げた寄付活動に賛同・参加してもらえる人数も多いのではないかと考え、取組を始めました。地域の皆様と共に歩み、感謝の気持ちを持って支え合う関係を大切に、持続可能な社会を実現するために努めていきます。

寄付付き商品の取組

株式会社メモワール（本社：横浜市南区）では、令和7年12月より、葬儀時の香典返しの品物の一部を本会（ヨコ寄付）への「寄付金付き返礼品」とする取組が始まりました。

冠婚葬祭事業を手掛ける企業で、社会貢献活動の取組として、ひとり親世帯への支援「七五三プロジェクト」、こども食堂（磯子区森）、放課後キッズクラブ出張授業などを積極的に実施しています。



寄付金付き返礼品チラシ

『株式会社 メモワール』より

この度、弊社が取り扱う葬儀返礼品において「寄付金付き返礼品」を販売し、その売り上げの一部をヨコ寄付へ寄付できる取組を開始しました。

この取組を通じて「ヨコ寄付」をもっと多くの方々に知っていただくきっかけにつながればと考えています。弊社は今後も冠婚葬祭事業を通じ、人と人とのつながりを大切に「ささえあえる地域づくり」「豊かな暮らしのお手伝い」をキーワードに、地域社会に貢献できる企業を目指してまいります。

NEW!

不動産を含む資産の遺贈寄付が可能に！

本会は9月16日に、NPO法人相続・不動産サポートセンターと協定を締結しました。協定の締結によって、これまでお受けすることが難しかった不動産を含む遺贈寄付※の受入が可能となりました。遺贈寄付に関しては、ぜひヨコ寄付担当までご相談ください。

※遺贈寄付とは、遺言書の^{のつと}則り、ご自身の財産を法定相続人以外にも遺すことができる、寄付のひとつの形です。財産の大小に限らず行うことが可能です。

NPO法人
相続・不動産
サポートセンター
ホームページ



▲協定締結の様子

（右：NPO法人相続・不動産サポートセンター理事長）



横浜市ボランティアセンターより

横浜市ボランティアセンターでは、企業の地域貢献活動について、ご相談を受けつけています。多様な主体が関わっていくことで、より豊かな地域づくりとなっていくと思います。お気軽にご相談ください。

この記事に関する
問い合わせは

横浜市ボランティアセンター

ヨコ寄付担当

☎045-201-8620

横浜市ボランティアセンターホームページ▶



退所時チャレンジ・ 退所後再チャレンジ 支援金事業

横浜市社協では、会員が施設・団体の種別ごとに部会を構成しています。その中にある児童福祉部会は65を超える児童福祉施設等が加入しており、課題の共有や行政も交えた意見交換を行っています。

部会では「退所時チャレンジ・退所後再チャレンジ支援金事業」を行っています。この取組は皆様の寄付を財源に、施設等を退所した子どもたちに必要な支援を行う事業です。公的な制度では対応が難しい内容にも活用でき、自分の力で未来を切り拓いていくための後押しとなっています。

いかり 児童福祉部会・井苅部会長のコメント

この事業は、施設の支援では手の届かないところを支えていただける、大変貴重な取組であると考えています。

施設退所を控え、自分の力で社会に出て行こうとしている子どもたちだけではなく、退園後、新たな課題や叶えたい希望が生まれた子どもたち、社会に出てうまくいかず、先が見えなくなっている子どもたちも活用できることが特徴です。

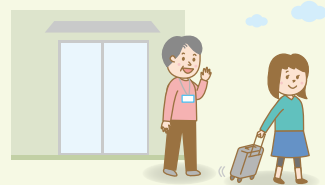
●日々の暮らしで精いっぱいだけど、晴れ着姿で成人式の写真だけでも撮りたい。

●職場になじめず退職し、別の仕事に就きたいが、家を借りる費用が足りなくて、次の一步が踏み出せない。

そんな子どもたちの背中をそっと押してくれるこの支援金事業を私たちも大切に活用させていただきながら、社会で頑張る子どもたちに寄り添い続けていきたいと思っています。



▲詳細はこちらから



▲児童福祉部会
左から井上副部長、井苅部長、
篠原副部長

【問い合わせ】
横浜市社会福祉協議会
社会福祉部 施設福祉課
☎045-201-2219

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和7年7月12日～10月10日 新規受付・継続受付分

団体

- 株式会社 cielo azul 様
- 公益財団法人 産業雇用安定センター神奈川事務所 様
- NPO法人 日本防災環境 様

- 株式会社 江戸清 様
- 社会保険労務士法人 みなと横浜社会保険労務士事務所 様
- 株式会社 エースプラン 様

賛助会員・
賛助会費の
ご案内



【問い合わせ】横浜市社会福祉協議会 総務部 ☎045-201-2096

みんなのきもち あいがとう

みなさまからの寄付は、地域の助けあい、
支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



よこはま 子ども・若者が孤立しない地域づくり研究会

令和5年5月、地域で孤立している子ども・若者たちの実態を知り、理解を深め、子ども・若者たちの社会参加を応援すること、地域のみんなが日ごろから少しずつ気にかけて声掛けや協力をしていこうと、市民・事業者・研究者等の枠を超えて集まった団体です。子どもは「学校」と「家庭」だけで育つことには限界があり、子どもがのびやかに育つには「地域」の力が必要だと考え、年間を通じてセミナーを開催しています。



▲「よこはま 子ども・若者インクルージョンセミナー」の様子

寄付者へのありがとうメッセージ

地域の皆様のご寄付のおかげで『よこはま 子ども・若者インクルージョンセミナー2024, 2025』を開催することができました。昨年はさまざまな『学び』や子どもの居場所の取組など、子どもとの実践事例を共有しました。令和7年は横浜市内4地域で子どもたちを支える取組を実践している団体の参加を得て、実践の工夫や課題を共有し、同時にシンポジウム等で広く市民、実践者や行政等に発信しています。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

寄付のご相談はコチラ ☎045-201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和7年7月1日～9月30日受付分（受入順）

金銭寄付者

〈個人〉

●河野 博 様

〈企業・団体〉

- 横浜信用金庫 理事長 春日 隆 様 (3件)
- ウェスティンホテル横浜 様 (2件)
- 株式会社 メモワール 様
- 株式会社 ひとはな 様
- 日清オイリオグループ 株式会社 様
- KDDI 株式会社 首都圏総支社 様
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同 様 (3件)
- いのもと分析セラピーオフィス 様 (3件)
- 株式会社 創健社 様
- 横浜市立緑園義務教育学校 野球部関係者一同 様

●ホンザキチャリティクラブ 様

●株式会社 フロンティア 様

●ふれあいチャリティバザー実行委員会 様

●吟楽会 様

●株式会社 ツカサバトコ 様

●日本国風流神奈川県地区本部 様

●浜住研 株式会社 様

〈匿名寄付〉(64件)

物品寄付者

〈企業・団体〉

- 公益財団法人 神奈川芸術文化財団 様
- 経営戦略研究所 株式会社 様
- 横浜労働者福祉協議会 様
- 株式会社 ロフト 様
- 〈匿名寄付〉(1件)

ヨコハマ寄付本寄付者

〈企業・団体〉

- 横浜市北山田地区センター 様 (3件)
- 日揮ホールディングス 株式会社 様
- 〈横浜市社会福祉協議会運営施設等〉
- 老人福祉センター 横浜市ユートピア青葉もえぎ野地域ケアプラザ 様 (3件)
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同 様 (3件)
- 横浜市港南区社会福祉協議会 様
- 横浜市旭区社会福祉協議会 様
- 〈匿名寄付〉(48件)

弁護士や司法書士による遺贈寄付の専門相談を受け付けています。

毎月第2水曜日
(要予約)

ホームページ▶



本会への寄付金を活用し、制度では対応できない課題の解決を目指します

ホームページ▶



令和7年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
保険金の種類			
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額		4,000円
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		× ○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

みんなの声



前号の感想

前号の内容

- 特集
若者とつくる福祉のまち
(NPO学生スタッフ、
若者×地域の取組)
- 福祉の仕事
NPO法人スタッフ
- Let's tryボランティア
若者発! ほどがやサンタ定例おそうじ

NPO 法人の学生スタッフさんの記事を拝見し、活動や町づくりへの思いを持って、いきいきと取り組んでいる印象を受けました。わたしも地域のお役に立ちたく、災害ボランティアに参加しています。
(福岡県 福本 武司)

普段生活していると市民団体やボランティアなど耳にすることがありますが、実際の様な活動をされているのか知らないことが多いです。こういう冊子を読んで活動内容が分かってと身近に感じられます。もっと発信して広めて欲しいと思います。
(保土ケ谷区 うさこ)

若者のボランティア活動をサポートするNPOの取組、とても素敵だと思いました。地域の方とのつながりができ、将来の活躍に期待したくなる、心が明るくなる特集記事でした。
(川崎市 みや)

「ほどがやサンタ定例おそうじ」まちを歩きながらごみ拾い、まちもきれいに参加者の気持ちもきれいになりますね!
(港南区 M.H さん)

福よこを読むだけで、世知辛い世の中ですが温かく優しい気持ちになります。
(鶴見区 みいくん)

みんなの声は「福よこクイズ」に寄せられた感想・ご意見を掲載しています。

クイズに答えて、プレゼントにご応募ください /

福よこクイズ

ご感想もお待ちしています!

Q (特集) 今号の特集で紹介した住民同士が支えあう地域づくりを続けているのは港南区にある「〇〇団地」です。(漢字2文字)

今号のプレゼント

木製よこはまパズル(コースター付き)

西区久保町にある「アトリエさらい」は、木工製品、編み物製品などの自主製品作りやチラシ折りなどの軽作業をしている就労継続支援B型作業所です。

パズルとコースターは、横浜市の水源のひとつ、山梨県道志村のヒノキを使っています。18区のピースで遊んだら、そのまま飾っておけます。ぜひお楽しみください。



▲コースター
◀パズル(縦:約14.5cm×横:約14.5cm)
※個体差があります

アトリエさらい
ホームページ



応募方法

はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、次の項目をご記入のうえお送りください。

項目

- 1) 記事の感想・ご意見
- 2) 福祉よこはまの入手方法
- 3) 福祉よこはまの入手回数
- 4) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否
(匿名希望はイニシャルを記載)
- 5) クイズの答え
- 6) 氏名(ふりがな)
- 7) 年齢
- 8) 電話番号
- 9) 郵便番号・住所

ご感想のみの方も
お待ちしております。

応募先

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協「福よこクイズ」係
FAX 045-201-8385
Eメール
fukuyoko@yokohamashakyo.jp

「福よこクイズ」応募フォーム▶



【個人情報取扱】

応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

前号216号「福よこクイズ」の答えは、「NPO」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

編集後記

◆ 特集: 今回の取材を機に、10年ぶりに野庭団地を訪れることができました。「自分たちのまちを自分たちでよくしていく」ことを私に教えてくださった地域。変わらず止まらず体現されていました。取材を受けてくださった皆さんが「野庭団地が大好き」と話されていました。これからも皆さんの健康と笑顔とご活躍を願っています。幸せな再会の時間をありがとうございました。

◆ 福祉の仕事: 「挨拶は大事」「愛される人になりなさい」というお父様の言葉を大切に、誰に対しても変わらない態度で接するようにしていると話す大川さん。利用者の方も信頼して本音で話してくれるのではと思いました。まずは自分から働きかけると大川さんに、清々しい気持ちになった取材スタッフでした。

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



ほら、
よこはま、
あうねがい

横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



〈発行〉
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX:045-201-8385
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL: https://www.yokohamashakyo.jp

〈デザイン〉
株式会社 オールスタッフ
次号▶No.218
令和8年3月発行予定

